

令和3年8月20日
情報基盤部

気象庁ホームページの閲覧に支障が生じたことの原因と対策について

8月14日12時40分頃から同日23時30分頃にかけて、気象庁ホームページが閲覧しにくい状況となったことについて利用者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。このことについて、原因と対策をお知らせします。

1 原因

気象庁ホームページへのアクセスの増加により、8月14日12時40分頃からシステムの処理が滞留したことによるものです。

気象庁ホームページでは、過去の災害時における最大規模のアクセス集中に耐えられるよう対策をとっていましたが、今回はそれ以上のアクセスがあり、システムの処理能力が追いつかなくなりました。

2 対策

15日と20日に緊急的にシステムを機能強化しました。また、コンテンツの軽量化やシステムの設定を見直すことにより、システムへの負荷を軽減する措置を実施しました。これにより、今回のアクセス集中に耐えうる処理能力を確保しました。

気象庁は、引き続き気象庁ホームページの安定的な運用に努めてまいります。

問合せ先：情報基盤部 情報政策課 和田、清重
電話 03-6758-3900（内線 3117、3106）

(参考)

【経過】

8月13日（金）

6時頃～ 気象庁HPへのアクセス増加に伴い、システムの監視を強化するとともに、負荷軽減のためシステムの再起動を繰り返し実施

8月14日（土）

12時40分 気象庁ホームページが閲覧しにくい状況の発生

13時30分 システムの負荷軽減を目的とした設定変更（14時30分まで随時実施）

14時40分 気象庁公式 Twitter へ気象庁ホームページが閲覧しにくい状況となっている旨を投稿

14時50分 負荷分散サービスの設定変更（8月17日まで随時実施）

16時10分 気象庁公式 Twitter にて、気象庁の情報を掲載している他のウェブサイトへの誘導を開始

17時10分 気象庁ホームページにて、気象庁の情報を掲載している他のウェブサイトへの誘導を開始

23時30分 アクセスが緩和したことにより概ね正常に閲覧できる状態になる

8月15日（日）

17時40分 緊急的なシステムの機能強化を実施

20時30分 気象庁ホームページに「お知らせ」を掲載するとともに気象庁公式 Twitter に投稿

8月20日（金）

11時00分 負荷軽減のためのコンテンツの改修を実施

12時00分 緊急的なシステムの機能強化を追加実施

※概ねの時刻を記載している。